

タイ日本道路のスタッフ体制

タイ日本道路の全職員数は81名、現地職員79名のうち、30名は女性です。現地にしっかり根づいた組織体制になっています。日本では、近年、ダイバーシティの進展や女性社員の活躍などが会社の人事施策にあげられることが多いようですが、タイの方がずっと進んでいるようです。

外国で仕事、生活をしていく上では相手を理解しようという姿勢が重要です。日本人とタイ人の長所をうまくいかすことができる組織づくりが重要だと思っています。

これまで日本での研修を3回、隣国マレーシア事業所との交流も兼ねてマレーシア研修も実施しています。



現在施工中の日系アルミニウム生産工場増設工事現場
写真中央が見楚谷係長（隣で聞いていると、こんな英語、タイ語と少々の日本語まじりでよく会話になっているなあと感心しますが、ちゃんと通じています）



取締役事務部長
プラ (Pra)

役員、事務部の統括者として各セクションを取り纏めることは大変ですが、チームワークが大変重要であると思っています。女性スタッフが多いことは特に意識したこともありませんが、能力を評価して採用した結果です。

能力を評価して採用した結果です。



取締役工事部長
タム (Tam)

タイ日本道路では約20年間働いています。多くのチャレンジの機会を与えてもらいまた自分自身も成長したと感じています。日々の業務の延長上で自然な地域活動ができればと思っています。ここで働くことが生涯で一番の経験であると思います。



工務課長
ケワリン (Keawalin)

大学卒業後直ぐにタイ日本道路に就職し、最初に携わったコンケン県の道路拡張工事は今でも私にとって誇りであり素晴らしい経験でした。現在は、技術営業と工事管理を担当しています。これからも技術者であることを忘れないで業務に取り組んでいきたいと思っています。

社会貢献活動について

これから、計画、実施していきたいと思っている社会貢献としては、タイは敬虔な仏教国ですので、寺社の連絡道の整備などの活動です。

タイで愛されていた国王崩御

タイは王国であり、昨年プミポン国王が崩御され、現在は1年間の喪中期間です。駅や街中のカラーの広告は電灯が消され、モニター広告は自粛され、代わりにご崩御に伴うメッセージが流れています。街中で販売されている服も基本的には黒、また一部のテレビ放送、ウェブサイトは白黒になっています。当社も名刺の会社ロゴは赤から黒に、重機の会社名シールも黒、本社従業員のユニフォームも今年は黒にしています。



チョンプリ機械センターの看板



チョンプリ機械センターでの防災訓練